

令和7年度タクトホームこもれび GRAFARE ホール
利用者意見交換会 議事録

日 時：令和8年2月13日(金)18:00~19:15

場 所：タクトホームこもれび GRAFARE ホール 音楽練習室

出席者：利用者7名 施設側4名(順不同・敬称略)

議題

1. 開会(館長挨拶)
2. 各団体からの挨拶
3. 自由懇談

利用者A)

1. あっとアートという体験型の子ども文化芸術フェアを今年も行う。今年は小ホールも使い実施する。実行委員の話し合いも始まった。
2. 令和10年度にタクトホームこもれび GRAFARE ホールが30周年を迎える。内部で話し合いを始めたところである。

利用者B)

タクトホームこもれび GRAFARE ホールができる前から活動しているが、タクトホームこもれび GRAFARE ホールが開館してからは5年毎に記念事業を行っている。内容としてはパネルに利用している団体及び思い出の公演会の写真を貼って展示している。

次の5年目は指定管理者が変わるか変わらないかという微妙なところでもあるので、できる範囲のご協力をいただきたい。

利用者C)

1. 我々の発表会は、出演者、お客様ともに非常に多く、タクトホームこもれび GRAFARE ホールを使っても2回に分けて実施しなければならない規模である。そのためほぼ全館借りないと開催できない。金曜日仕込み、土曜日場当たり、日曜日本番という形になる。しかしながら、日曜日のリハーサル室の午前が既に共催事業で埋まっており取ることができない。共催事業の基準そのものが曖昧である。一度共催事業の団体になると、ずっと共催事業を続けられるということがこれまで続いてきた。これに関しては問題提起をずっとしてきたが、はっきりとした答えがない。この点に関して何がしかの答えを出していただきたいと考える。

2. 月間で使える施設の利用枠が少ないように思われる。10月は文化祭があるのでそこは理解しているが、それ以外の月でも少ないように思われる。構成員には西東京市の方もたくさん在籍している。他市のホールの予約を取ろうにも、地域の市民・区民優先で取ることができない。その意味でも西東京市のタクトホームこもれび GRAFARE ホールで頑張りたい

という思いが強い。

くじ運だけの問題ではないのではないかと考える次第である。

利用者 D)

利用者 C とほぼ同じ内容になるが、社会人中心の団体なので、日曜日に借りたいが空き枠が少ない。空いていても連続して空いてない、夜しか空いてないということがある。共催という話が先ほどあったが、指定管理者の主催事業と共催事業で土日が埋まってしまう印象がある。主催事業は平日の夜間に行うことも検討いただきたい。指定管理を取るタイミングでこれだけの事業を行うということで指定管理者に選ばれたことだとは思いますが、市の選定側としても、事業数といった一般の市民の目線だけではなく施設の利用者目線でも検討いただければと考える。

利用者 E)

人口 21 万の西東京市に市民オーケストラが 3 つある。田無と保谷が合併したことでそのようなことになったという経緯があるが、その中でも青少年を中心とするアマチュアオーケストラがあり、構成員の関係上夏休み・冬休みしか時間がない、そういう団体は最優先で利用できるように考えていただきたい。

我々のオーケストラはタクトホームこもれび GRAFARE ホールがオープンしたときから年 2 回うち年 1 回は共催でやらせていただいております、それ自体は大変ありがたいことではあるが、他のオーケストラ、吹奏楽団、ダンス教室等で共催をやって欲しいという意見も聞いており、それを考えると我々が共催をやめて、違うところに共催の枠を譲ってもいいのではないかとも思うとことである。

また指定管理者を取るときに、土日の半分は事業の為に使ってもいいということになっているかとは思いますが、少し多すぎ感もしないではない。また既得権益でずっと枠を押さえている団体のことも聞いているので、そこを一度整理していただきたい。

オーケストラや吹奏楽の練習場として西東京市民文化プラザができたのは、それはそれで大変ありがたいことではあるが、オーケストラにはティンパニが必要だが西東京市民文化プラザにはそれがない。高価なものなので簡単には買えないとは思いますが、いつかは予算をつけていただいて購入していただければと考える。あと、ピアノもグランドピアノがあればと考える。

市の施設でこれらの備品を所有し市民に貸し出すのは必然的に必要なことになるのではないかと思う。

その他西東京市民文化プラザの 4 面を借りないと練習ができない。4 つに区切られるという事にはなっているが、音が漏れる為結局 4 面借りなければならない。

いずれにせよ、西東京市を中心に活躍している団体、特に子供たちの団体の利用を最優先で施設の利用を考えていただければと考える。

利用者 F)

大学のクラブで利用している。本番も含め 2 日間利用させていただいたが、ステージマネ

ージャーとして打合せの段階から丁寧に接していただいた。大学のクラブなので毎年代替が発生して毎年違う学生が打合を行い不慣れな部分はどうしても出てしまうが、それでもホールの方々から丁寧に料金のことや舞台機構の説明がありとても嬉しかった。

無料で貸し出していただける物がたくさんあって、予算が限られている大学のクラブとしてはとても助かった。他のホールでも何回か打合せしたことがあるが、その中でもこのホールの方々はとても温かみがあって嬉しかった。

利用者 G)

毎年抽選で外れることが多く、また日曜日が既に埋まっている日何日かあるので、それを減らしてもらうことができたらと思っている。日曜日に 2 枠取って練習したくても、なかなか 2 枠連続で取ることができないので、抽選なので仕方がない部分はあるものの、なんとか考慮いただけるようにできないかと思っている。ティンパニやバスドラを使うので、そのような楽器がある施設でないとパーカッション担当は練習ができない。その意味ではこもればは貴重な練習場所である。

抽選に外れたときは他のホールを使うが、このホールの舞台スタッフはすごく丁寧に前回の資料を持ってきて、ここを変えたらどうですかとか提案してくれる。照明がすごくしっかりしていて、こちらの意思をくみ取ってやっていただけるのですごく助かる。

職員 A)

皆様から貴重なご意見をいただいたので、ご意見を踏まえたうえで、それに答えるような形で説明をさせていただきたい。

1. あっとアートに関しては、職員・舞台スタッフ一同協力させていただき所存である。
2. 30 周年記念事業に関しては、指定管理者として全面的に協力をしたいが、ご指摘のとおり指定管理者が変わる年でもあるため、我々が次期指定管理者として指定されるかどうかはわからない。しかし指定管理者として引き続き運営にたずさわることであれば、皆様の要望等は可能な限り取り入れていきたい。
3. 5 年毎の周年事業に関しても、同様なことになるかと思う。我々が指定管理者となった初めての年に、周年事業が行われ、これまでのタクトホームこもれば GRAFARE ホールの歴史を振り返る展示や市民団体の発表を行った。次回実施するにあたっては我々が十分なヒアリングを行って、指定管理者が変わっても次の管理者に引き継ぐような形をとりたいと考えている。
4. 一番意見が多かったホールの空き状況であるが、この件に関しては事業担当から説明させていただく。

職員 B)

土日祝のメインホール及び小ホールの月の半分以上は一般の方々に開放するという市からの仕様書の取り決めに沿って抽選の為に必ず開けるように設定している（10 月の文化祭は除く）。毎月 1 日午前のリハーサル室については、これまでおこなっていた対面式の抽選会がなくなったので、その分の枠は一つ増える。

共催事業のありかたについては、市と合意が取れ次第、皆様に周知していく段取りとなっている。共催の在り方については、市民の方々からも意見をいただいております、それらの意見も踏まえ、市と協議中である。

職員 A)

利用者よりも一般のお客様に目が向いているというご指摘をいただいた。そのような一面がある一方で、日頃タクトホームこもれび GRAFARE ホールを使う機会がない方々にタクトホームこもれび GRAFARE ホールに来ていただき楽しんでもらうというのも指定管理者としての責務である。商業主義的な催し物だけではなく、無料のコンサートや落語・ワインコインで楽しめる体験型のワークショップもおこなっている。

これらの催し物を行うとその分枠を押しやることになり、発表の場としてのスペースを押しやるを得ない形になってしまうのは事実である。

また、アーティストを招聘する公演になると、複数の候補日を押しやるというようなこともあるが、そのような下でも、先ほど説明申し上げた仕様書の取り決めに沿った、半分以上の枠は利用者に開放できるようにスケジュールを組んでいるので、その点をご理解をいただきたいと思う。

平日の夜間というご意見を先ほど頂戴したが、実際平日に催物を開催するなど工夫しながらやっている。

ただ、抽選の際はどうしても埋まっているところが目立ってしまうところがあるのも事実である。その部分は工夫の余地があれば、我々としても今後なるべく皆様に提供できるようにできればと考えている。

子ども向けの公演に関しては、市からも「子どもど真ん中」という指針が発せられており、子どもたちに文化芸術に触れる機会の創出が求められている。

これに関しては、毎月おこなっている「こどもアートカフェ」を通じて工作と食事が楽しめる機会を設けており、今後も継続していく。

楽器の話が先ほどあったが、タクトホームこもれび GRAFARE ホール所有の機器も段々古くなってきており、先日もベースアンプが故障するということがあった。プロジェクターが汚いという声もいただいております、限られた予算の中で優先順を総合的判断し対応している状況である。

機器自体が古くなると故障しても修繕することができないという状況と、ホールの規模に見合ったものを購入すると、どうしても高価になるという悩みを抱えている。備品の状況を日々確認し、なるべく故障で使えない期間をなくし、また利用者の皆様にも正しい使い方で利用していただくようお願いしたいと考えている。

利用者 F 様からはありがたいお言葉をいただいた。非常に励みになる。

無料の貸出品が良かったという事であったが、施設の利用料金に関しても、他の施設に比べて安価であるというお声をたくさん頂戴している。

子どもとしては、高校生、大学生といったこれから成人や社会人になられる方々にもタクト

ホームこもれば GRAFARE ホールを知っていただき、継続的にご利用していただきたいと考えている。

その中で今回、大学のサークルのご利用者様にお声がけさせていただき、利用者意見交換会への参加の承諾を得られたことに関しては、大変うれしく思う。

利用者 D)

メインホール利用時のロビーの利用に関して制限がある。

本番の前にロビーコンサートを行いたいという要望をだしても、1曲とか5分とか短い時間でしかできず、ロビーでの公演も受け入れてもらえない。

ホールの設備としてスピーカーからロビーに音を出せる設備があるので、それを使って公演の様子をホールに出したいが、他のお客様に迷惑をかけるとのことで許可がでない。カフェのお客様からクレームがくるとのことだったが、頻度はどのぐらいなのか。

職員 A)

タクトホームこもれば GRAFARE ホールのエントランスは吹き抜けとなっており、音を出して皆さんに楽しんでもらうという構造になっている。

しかし、カフェや他施設の利用者からクレームを受けたのも事実である。回数としては2〜3回と少数ではあるが、そういった声があった以上無視はできない。

自主事業でもエントランスを使って落語の公演を行っているが、時間を30分以内にしたり、会議室を同時に押さえたり、カフェの入客が少ない時間を選んでおこなっている。

当館のエントランスは公共のスペースという側面もあり、お喋りや食事を認めると、常時そのような状況になることも想定され、公演等でエントランスを受付等で利用される方々に迷惑が掛かってしまう。また食事を許可するとごみ等で日常のメンテナンスが難しくなるという懸念もある。公共の場所である以上ある程度制限をしたいというのが我々の趣旨であるが、一方でご飯を食べたいとか、音を出したいという意見が多数になるのであれば、我々としても運用方法は考えていきたい。

利用者 D)

食事に関しては、実際午前・午後公演だと、食事を持ってきたお客様が食べるところがなかったりするので、1階の絨毯のないところだけという制限はあってもいいが、配慮いただけるとありがたい。

エントランスでの音出しの件に関しては、おっしゃることもわかるが、我々がやりたいのは、来られたお客様もしくはロビーにいらっしゃるお客様に対して、我々の演奏を聞いていただき日頃音楽に触れていない方にも興味を持っていただき、中に入ってもらうというのが趣旨である。

カフェにいらっしゃるお客様、ロビーに来られているお子様・家族連れの方々に聞いていただき、会場に足を運んでいただければということでやらせていただいているので、条件を緩和していただければと思う。

職員 A)

利用者 D 様のご意見もタクトホームこもれば GRAFARE ホールの事を考えてのことだと思
うが、我々としては「うるさい」という意見にも耳を傾ける必要があることも、重ね重ねで
あるがご理解いただきたいと思う。その辺を総合的に判断したうえで、最善のものを提供し
たいと考えている。他館の状況や市の意向も聞いたうえで判断したいと思う。

利用者 D)

ロビーでコンサート（フリーライブ）をやっているときの 30 分ぐらいはやらせてもらいた
い。

職員 A)

我々は管理者の立場として、関係各所の意見を聞きながら、安全に運営できると判断したの
が 30 分である。

利用者 D 様であればならその辺をご理解・ご配慮いただいた上でご利用いただけるかもし
れないが、他の団体も同じような意識のもとやっていたかどうかは別問題なので、ど
の団体でも 30 分やっていいとは言えない。

あらゆる団体が使う時に最適な使い方は何かということを考えていることご理解をいただ
きたい。少し制限を設けた上でご利用いただければ、我々としては、安全・安心が担保でき
るものと考えている。

その意味で、我々の使い方をそのまま利用者にもあてはめる事は、管理運営上難しいこと
をご理解いただきたい。

以上